

さと
いしはらの里協議会

～つどう ふれあう 助け合う いいとこ石原～



やまさとの市



サマースクール

経 緯

- 過疎高齢化が進むなか、ガソリンスタンド休止、生活店舗の縮小などを契機として住民によるワークショップを開催。
- いしはらの里協議会を設立し、旧石原小学校を拠点に集落活動センターを開所、小さな拠点づくりに果敢に挑戦中。

取組内容

- 集落活動センターを拠点に、農産物・加工品の直販(地産外商)や生活店舗・ガソリンスタンドの運営、農作業や地域の共同作業、各種交流事業などを実施。地域の伝統行事の継承。
- モデル住宅を建設し、地域資源である木材の活用を図るとともに、一貫した木材活用策を実践する人材育成。
- 老舗ホテルの宿泊客を受け入れ、アメゴつかみ体験や田舎料理を提供。

活動の効果

- 活動を通じ、地域のリーダーや担い手が育ち始めた。
- 地域内外の交流機会が増えた結果、地域の共同作業への参加者が増え、地域行事の活気を取り戻しつつある。
- 合同会社が運営する生活店舗や直販所、直販市「よさく市」等での一次産品や加工品の直販をはじめ、農林業体験等の交流事業を通じて住民の所得向上に寄与。
- 専門家の助言を得て、経済的自立による持続可能な活動の仕組みづくりを目指す。

応募団体からのアピール・メッセージ

開所以来、国や自治体、大学等から多くの視察・研修者が訪れているほか、各種フォーラム等への登壇依頼も多い。今後も積極的に交流と受入を行い、これまでに得た知見を共有していきたい。